

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立東出雲中学校

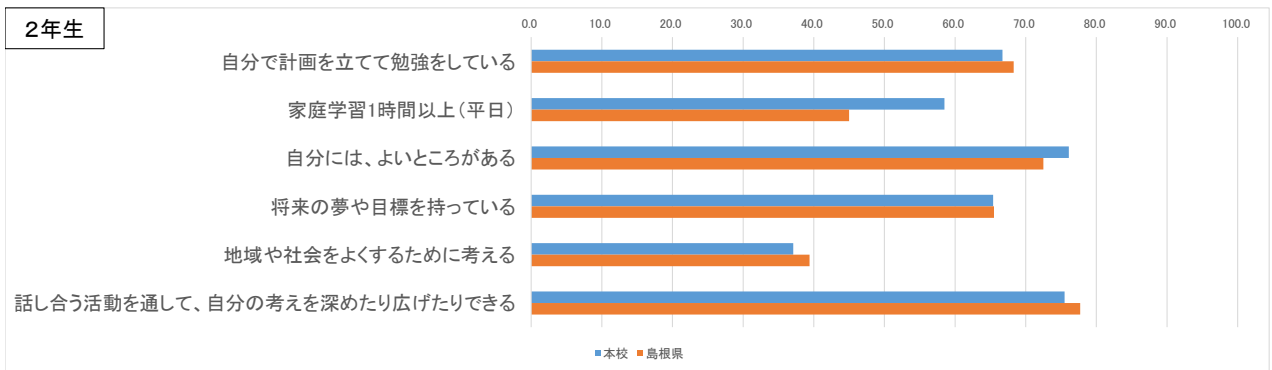
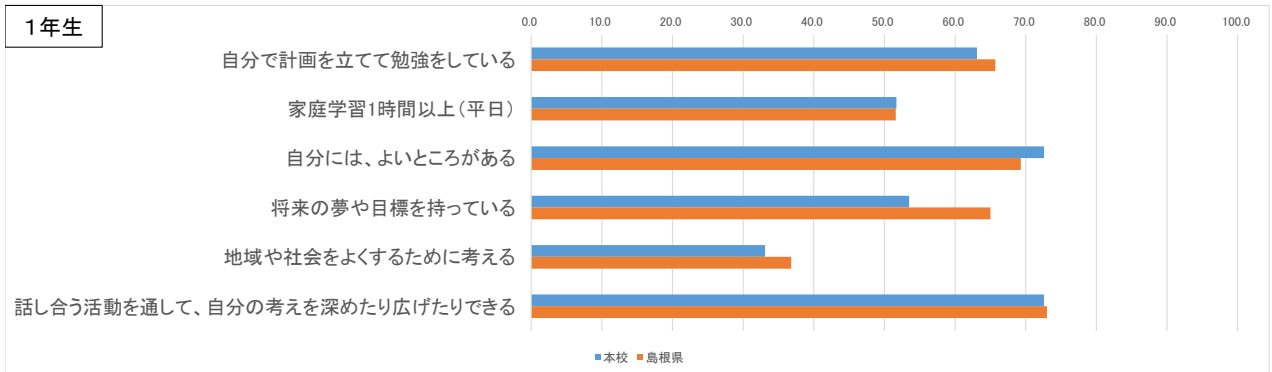
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関する問題は、それぞれの目標値を6.6ポイント上回る。 ●「文章を書く」問題では、指定された長さで読み取った内容や自分の考えを明確にして書くことに課題がある。 ●漢字について、読むことはできるが書くことが定着していない。	○「読むこと」「話すこと・聞くこと」に関する問題はついでには、全国や県の平均正答率を上回り、よく理解できている。 ●「書くこと」に関する問題については、平均正答率が目標値に達しておらず、無回答率が高いことが課題である。 ●漢字の書きに弱みがある。
数学	○市や県、全国を上回る項目も多くあり、おおむね良好といえる。 ●基礎は市、県、全国より上回るが、活用は下回っている。 ●選択、短答形式の問題は、市、県、全国とあまり差がないが、記述式の問題の正答率が低い。	○知識・技能の問題や、短く答える問題では、県平均を上回っている。 ●分数の計算の正答率が低い。 ●式の意味を読み取ることが課題である。 ●記述問題では、先を見通し、簡潔な説明をすることが課題である。
英語	○簡単な対話における適切な表現の知識は身に付いており、リスニングや短めの読み取りに関する問題は県平均に近いものが多い。 ●ある程度まとまった情報の聞き取り、読み取り、英作文は国や県の平均を大きく下回るものが多い。 ●基本的な語彙の知識はあるが、それらを適切に活用する力が弱い。	○リスニングや読み取りに関する問題については、正答率が高い。 ●テーマに沿ってまとまった量の文を書くことに課題がある。 ●語彙や語順等の知識的な力は目標値に近いが、目的・場面・状況に応じたやり取り等において適切に活用する力が弱い。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○「自分のことが好きである。」「自分には良いところがあると思う。」と答える生徒が県平均より高い。学校生活で「尊重」を重視した取組の成果と考えられる。 ●集中して学習しているという生徒の割合が低い。 ●新聞や図書等を使って自ら学ぶ生徒の割合が低い。 ●地域の行事に参加している生徒、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている生徒の割合が低い。	○地域のことについて調べたり、調べたことを発表したりするなどの学習に取り組んだ生徒の割合が県平均に比べて高い。 ○総合的な学習の時間では、集めた情報を課題に沿って整理して考え、発表する学習に取り組んでいる生徒の割合が県平均に比べて高い。 ●テレビを見る時間や寝る時間などを決めていない生徒の割合、スマホの使用時間が長い生徒の割合が高いなど、規則正しい生活習慣づくりが課題となっている。 ●新聞や図書館を活用した学習が少ない。 ●地域に関する学習は行っているものの、地域行事への参加が県平均に比べてかなり低い。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 1年生 157 名 2年生 159 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)